

令和2年4月7日

生徒諸君

静岡聖光学院中学校・高等学校

オンライン学校における本校の教育活動について

3月末から咲き始めた桜が、穏やかな陽の光を受け、咲き誇っています。誰もいない教室から見る桜が、これほどまでに美しかった4月を我々は知りません。満開に咲き誇り、ふとした風に運ばれる花びらが、生徒諸君が一人もいない学校に吹雪いています。

新型コロナウイルスの影響が世界各地で告げられています。実感を伴わない罹患者は日に日に増え続け、今まさに起こっている出来事が、遠くのことに感じる瞬間さえあります。しかし確実に、我々のすぐ近くまで迫っています。我々ができることはただひとつ、ウイルスに感染する可能性を極端に排除すること、それだけです。

しかし、私たちは私たちの掲げた理念、またそこに進む歩みを止めるつもりはありません。世界が未知のウイルスの恐怖に怯えている今だからこそ、我々の目指している「地の塩、世の光」を体現できる人材の育成が求められていると確信しています。

私たちは試されています。しかし私たちは負けることなどありません。生徒諸君には、静岡聖光学院の生徒として誇りある行動を期するとともに、こんなときでさえも、私たち教職員一同は理想の生徒像を追及し、今後学校として、以下のような対応をとっていかうと考えています。

1. 祈りの時間

全世界が新型コロナウイルスの脅威に怯える生活を送っている今だからこそ、本校の持つカトリックの精神を全校生徒で共有したいと思います。週に1日程度、朝のHRの前に「祈りの時間」を設けようと思います。心を落ち着けて、自分の心の内なる声を聞きましょう。

2. 君たちの学習・学校行事について

- ① 授業は時間割通りに行います。オンラインとはいえ、中学校・高等学校で学ぶべき内容はきちんと対応します。安心してください。
- ② 受験を迎える、また近づいている高校2年生・3年生の諸君は、その他学年以上に学習に対する不安を抱いていることと思います。そこで、時間割通りに授業を行った後、大学受験指導に特化した「特別講座（以下、特講）」を開講します。
- ③ 特講は、君たちの現状の成績、希望進路を鑑み、必要な能力を身に付けるためにどの講座を受講すべきか、学力向上戦略室（室長 小山祥史）が中心となって受講科目を提案します。受講者の参加の可否を、諸君の学力レベルで判断することはありません。全ての生徒のために用意します。
- ④ 特講は、オンラインによる少人数指導を予定しています。
- ⑤ 最難関の国公立大学や医学部への合格を希望する生徒に対しては、兄弟校である聖光学院（横浜）の協力を得て、現役の東大生、医学部生に受験アドバイザーとして進路指導のサポートを行う予定です。
- ⑥ 当面6月までの大きな学校行事については無期限延期で考えています。つまり、中止にはし

ないということです。ただし、君たちが学校に戻ってきてから、我々教職員と一緒に、同じ目線、同じ立場で、共に行事を生み出していきましょう。当初予定から変更して学校行事を組み直すことは大変なことです。プロジェクトを共に創造しましょう。

3. クラス担任との面談について

- ① 2020年度になってから、まだ一度も顔を合わせていない君たちのクラス担任は、君たちに会えることをとても楽しみにしています。しかし現実には学校で対面することは不可能であるため、オンラインによる面談を行うことを予定しています。担任は全て君たちのサポーターであることを忘れないでください。
- ② 我々は、通常の学校における授業以外の場も重要な教育の場と考えています。だから、もし君たちが自宅で昼食を一人で食べているのなら、ZOOMを通して、我々教職員と一緒に昼食をとろう。会話などなくてもいい。それでも一人で食べる昼食より美味しく感じるはずだ。

4. 君たちのメンタル・ヘルスケアについて

- ① 通常とは異なる日常生活を送ることで、君たちのストレスも相当なものだと思います。説明のできない落ち着かない気持ちになることもあるでしょう。なにかいらいらした気持ちに襲われることもあるでしょう。しかしそれは特別なことではありません。そんなときは、上手く説明できなくても、信頼できる教員に話をしたいと思っています。特に用事なんかなくてもいい。他愛もない雑談も、我々は歓迎します。
- ② オンライン授業を受けるにあたり、君たちが長時間 iPad やその他デバイスを見つめることを心配しています。テクノロジーは便利な面もある一方で、君たちに取り返しのできない傷を刻む可能性もあります。適切な使用を心がけてください。

5. 寮生諸君へ

- ① 寮生の諸君、君たちが寮に戻ってくることを職員一同心待ちにしています。また再び、自己研鑽の場である共同生活を受けるにあたり、自分自身の生活を振り返り、きちんとした生活リズムで一日を終えることを心がけてください。
- ② ①を実践するにあたり、決められた時間に毎日晚礼を2回行います。1回目の晩礼は夜の学習の始まり、2回目は終わりです。ZOOMとはいえ、仲間と繋がり、共に学んでいる実感を持ってください。別々に生活している共同生活の実現を目指したいと思っています。

さいごに

次に君たちに会うことのできるのはいつになるのでしょうか。君たちに会えないことは寂しくもありますが、一方で、久しぶりに会った君たちの成長を思うと、とても楽しみでもあります。君たちがこの試練の時を乗り越えて、立派な男になっていることを願っています。

再び学校で会った時、私たちは、今年の桜の花がどのくらい美しかったかを君たちに教えてあげたい。しかし、来年の桜は、共に観ましょう。その美しさを、共に語りましょう。